

春に備えて

副校長 小板橋 義夫

1月の学校公開・書写展では、ご多用の中参観していただきありがとうございました。たくさんの保護者の方が来てくださったおかげで、普段よりも張り切っている子どもたちの様子が見られました。今後も本校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。

さて、2月に入ると、三寒四温の名の通り、少しずつ春の足音が近づいていくことを感じます。校庭の片隅では梅の蕾も膨らみ始めました。暦の上での「春」は、立春から立夏の前日（5月5日頃）までをいいます。しかし、まだまだ真冬のような寒い日も続きそうです。そのような中で小さな春の訪れを感じられる子供たちに育ててほしいと思います。

今、子供たちは次の学年や卒業を意識した学校生活を送っています。また、自分自身の成長を感じたり、自分の成長を支えている周囲の人たちに感謝の気持ちを伝えたりできるよう教職員一同で支援しています。それぞれの春に向けて、進級する1年生から5年生や巣立っていく6年生が、共に過ごした日々を思い起こし心の絆を深められる月にしていきたいと思っています。

また、今年度は開校130周年を記念して様々なイベントを行ってきました。その締め括りとして、2月9日には周年行事委員会を中心に「130周年記念児童イベント」が開催されます。校舎内を使っての「130周年ウォークラリー」や「開校150周年の児童へ向けてのタイムカプセルの納め式」など企画しています。子供たちのよい思い出に残るイベントになればよいと考えています。

今年度もあとわずかとなりましたが、今後とも保護者の皆様のご支援・ご協力お願いいたします。

2月の生活指導目標

☆「相手の気持ちを考えた言葉づかいをしよう」

やさしい言葉かけはお互いが気持ちよく過ごせるための一つの方法です。誰もが気持ちよく毎日を過ごすために二小の子どもたちにしっかりと身に付けさせたいと考えています。

「ふれあいアンケート」を行います

2月は「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」です。児童が学校生活で困っていることがないかを把握するための「ふれあいアンケート」を行います。今年度最終の3回目です。アンケート後に面談等を通して、いじめの早期発見や心の傷の把握や解消に努めます。児童が楽しい学校生活を送れるよう支援していきます。

ユニセフ募金について

2 / 14 (水)～16 (金)の3日間は、代表委員によるユニセフ募金の活動があります。

ユニセフは1946年にできました。戦争で親を亡くしたり、家を焼かれてしまったり、食べるものがなかったりと、厳しい暮らしをしていた子ども達を助けるためにつくられたのがユニセフです。日本も第2次世界大戦後、15年間に渡ってユニセフに助けってもらったことがあります。

ユニセフ募金の活動を通し、人と人が助け合うことの大切さや、さまざまな形で助け合いができることを考える機会にしたいです。

(代表委員会担当)

書き初め展について

冬休み明けに書いた「書き初め」を校内に展示し、書き初め展を行いました。それぞれが、「とめ、はね、はらい」などに気を付けながら、時間をかけて丁寧に書き上げました。

また、校内を巡りながら他の学年の作品を見学しました。どの作品も、練習の成果が出ていて素晴らしいものばかりでした。

(国語担当)

なわとびチャレンジ週間【2月5日(月)～9日(金)】

2月の恒例行事と言えば・・・そう！なわとびチャレンジ週間です。

なわとびは、跳べるようになると楽しくなります。跳べるようになると色々な技に挑戦したくなります。3学期は、休み時間になわとびカードを片手に校庭に駆けてくる児童の姿を見かけるようになりました。

1月23日(火)、25日(木)には、運動委員会による技の紹介や跳び方クイズの発表があり、お兄さんお姉さんたちが格好良く跳ぶ姿に目を輝かせている児童もいました。そして、やる気に火が付いたところで待っているのが・・・「なわとびチャレンジ週間」です。中休み、昼休みを使って、全校で、なわとび練習に取り組みます。

なわとびが得意な子はより技術の向上を目指せるように、苦手な子は自分なりの目標を見つけて取り組めるように声を掛けていきます。ご家庭でも、お子様の頑張る気持ちを応援したり、見守ったりして頂けると嬉しく思います。

(体力向上担当)



なわとび集会で練習している様子